

日本史授業プリント中世6 (031) 北条氏の台頭と承久の乱

3年 組 番 \_\_\_\_\_.

**北条氏の台頭** ※<sup>1</sup>北条氏…伊豆国北条出身の小豪族 頼朝の正妻(<sup>2</sup>\_\_\_\_\_ )の一族として頭角

將軍 頼朝急死[1199]→幕府動揺→政子が將軍(息子など)を後見(「尼將軍」)

**3 頼家** 2代(1199~1203) 頼朝の長男(17才)

→有力者<sup>4</sup>十三人の合議制…<sup>5</sup>**北条時政**(政子の父)、<sup>6</sup>**比企能員**(頼家の乳母父)  
和田義盛、三浦義澄、梶原景時[1200滅亡]、大江広元、三善康信 ら

→<sup>7</sup>**比企能員**滅亡(比企の乱)[1203] →時政、頼家を伊豆<sup>8</sup>**修禪寺**に幽閉→暗殺[1204]

**9 実朝** 3代(1203~19) 頼朝の次男(11才) <sup>10</sup>**右大臣**[1219] 北条氏が台頭

<sup>11</sup>**北条時政**…大江広元と並んで<sup>12</sup>**政所別当**に就任(1203)→以後「<sup>13</sup>**執権**」と呼ばれる

<sup>14</sup>**畠山重忠**を滅亡 平賀朝雅(源氏出身で時政の娘婿)を実朝のかわりに將軍に擁立→失敗[1205]

<sup>15</sup>**北条義時**…時政の子 姉(政子)と協力、父を失脚させる→政所別当に就任

<sup>20</sup>**和田義盛**を滅亡(<sup>21</sup>和田合戦)[1213]→義時、<sup>22</sup>**侍所別当も兼任** ☆以後北条氏が独占

<sup>23</sup>1219. 頼家の遺児 <sup>24</sup>**公暁**、実朝を暗殺(右大臣拝賀の日) 鶴岡八幡宮

↳直後に<sup>25</sup>**三浦義村**に殺される → 源氏の正統は滅亡

**京の情勢**

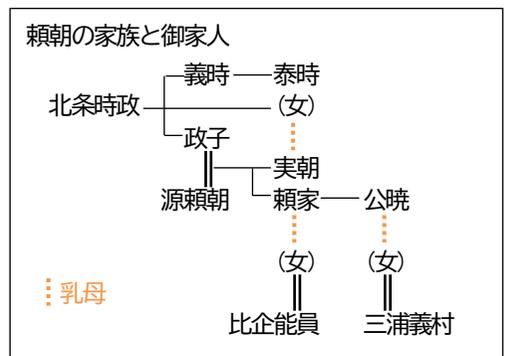
<sup>26</sup>**後鳥羽** **上皇** [院政 1198~1221] ※当初は実朝に接近→暗殺後は武力倒幕を画策

皇室領荘園の結集(財源確保)、寺社勢力や西国武士などを結集、<sup>27</sup>**西面**の**武士**を新設

1219. 幕府は上皇の皇子を4代將軍に希望→上皇はこれを拒否

上皇、摂津国長江荘・倉橋荘の地頭の罷免を要求→幕府はこれを拒否

※関白九条兼実の曾孫(&頼朝の妹の曾孫<sup>みとら</sup>三寅(2才)が將軍として鎌倉へ…後の<sup>28</sup>**九条(藤原)頼経**



**正誤問題練習** <大学入試センター-2011年B本試験、2011年B追試験>

X. 源頼朝は、朝廷を監視するために、京都に六波羅探題をおいた。×

Y. 鎌倉幕府は承久の乱で没収した所領に新たに地頭を任命し、西国への支配を拡大した。○

## 承久の乱とその後

29 1221. 30 承久 の乱

朝廷 31 北条義時追討の宣旨・院宣を出して諸国に号令

幕府 32 尼將軍政子の演説…幕府の存在意義(御家人の地位の安定や負担の軽減)を力説  
→御家人の結束 →約1カ月で幕府方の圧倒的勝利

戦後処理 ① 3 上皇の配流と 33 仲恭 天皇の廃位

… 34 後鳥羽 → 35 隠岐、36 順徳 → 37 佐渡、38 土御門 → 39 土佐(のち阿波)

② 40 六波羅探題 設置[1221] ← × 京都守護

職掌：41 尾張(のち三河)以西の御家人の統率・京都の警備と監視

初代：42 北条泰時(北方)・43 北条時房(南方) → 以後、北条氏が世襲

③ 上皇方所領の没収(44 約3000箇所)

→多数の地頭の任命…45 新補地頭 ※従来の地頭を46 本補地頭という

☆47 新補率法 [1223]…地頭の得分(給与)を法定 前例がない場合に適用

(a) 48 11町につき1町の免田(給田)

(b) 49 1反につき5升の50 加徴米 (c) 51 山川からの収益の半分

結果 ① 公武二元支配の変化…武(幕府)が優位に

<例>幕府が皇位継承にも介入…後鳥羽の系統でない後堀河天皇→四条天皇

52 大田文(土地台帳。凶田帳とも)作成を命令[1223] …本来は国司の業務

② 幕府の支配領域の拡大…畿内・西国にも ※多くの関東御家人が西国へ

**北条氏の台頭** ※1北条氏…伊豆国北条出身の小豪族 頼朝の正妻(2\_\_\_\_\_ )の一族として頭角

將軍 \_\_\_\_\_ 頼朝急死[1199]→幕府動揺→政子が將軍(息子など)を後見(「尼將軍」)

3\_\_\_\_\_ 2代(1199~1203) 頼朝の長男(17才)

→有力者4十三人の合議制…5北条 \_\_\_\_\_ (政子の父)、6 \_\_\_\_\_ (頼家の乳母父)  
和田義盛、三浦義澄、梶原景時[1200滅亡]、大江広元、三善康信 ら

→7比企能員滅亡(比企の乱)[1203] →時政、頼家を伊豆8修禪寺に幽閉→暗殺[1204]

9\_\_\_\_\_ 3代(1203~19) 頼朝の次男(11才) 10右大臣[1219] 北条氏が台頭

11北条時政…大江広元と並んで12政所別当に就任(1203)→以後「13 \_\_\_\_\_ 」と呼ばれる

14畠山重忠を滅亡 平賀朝雅(源氏出身で時政の娘婿)を実朝のかわりに將軍に擁立→失敗[1205]

15北条 \_\_\_\_\_ …時政の子 姉(政子)と協力、父を失脚させる→政所別当に就任

20和田義盛を滅亡(21和田合戦)[1213]→義時、22侍所別当も兼任 ☆以後北条氏が独占

231219. 頼家の遺児 24 \_\_\_\_\_、実朝を暗殺(右大臣拝賀の日) 鶴岡八幡宮

↳直後に25三浦義村に殺される → 源氏の正統は滅亡

**京の情勢**

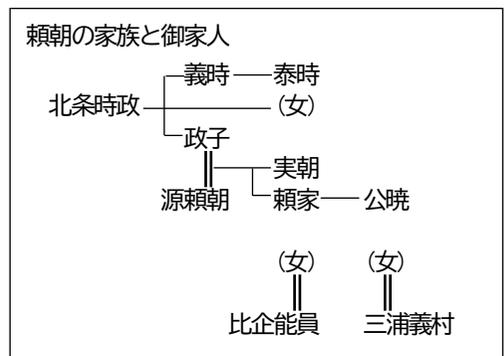
26 \_\_\_\_\_ 上皇 [院政 1198~1221] ※当初は実朝に接近→暗殺後は武力倒幕を画策

皇室領荘園の結集(財源確保)、寺社勢力や西国武士などを結集、27 \_\_\_\_\_ の武士を新設

1219. 幕府は上皇の皇子を4代將軍に希望→上皇はこれを拒否

上皇、摂津国長江荘・倉橋荘の地頭の罷免を要求→幕府はこれを拒否

※関白九条兼実の曾孫(&頼朝の妹の曾孫みとら三寅(2才)が將軍として鎌倉へ…後の28九条(藤原)



**正誤問題練習** <大学入試センター2011年B本試験、2011年B追試験>

- X. 源頼朝は、朝廷を監視するために、京都に六波羅探題をおいた。
- Y. 鎌倉幕府は承久の乱で没収した所領に新たに地頭を任命し、西国への支配を拡大した。 \_

## 承久の乱とその後

29 1221. 30 \_\_\_\_\_ の乱

**朝廷** 31 北条義時追討の宣旨・院宣を出して諸国に号令

**幕府** 32 尼將軍政子の演説…幕府の存在意義(御家人の地位の安定や負担の軽減)を力説  
→御家人の結束 →約1カ月で幕府方の圧倒的勝利

**戦後処理** ① 3 上皇の配流と 33 \_\_\_\_\_ 天皇の廃位

… 34 後鳥羽 → 35 \_\_\_\_\_、 36 \_\_\_\_\_ → 37 佐渡、 38 \_\_\_\_\_ → 39 土佐(のち阿波)

② 40 \_\_\_\_\_ 設置[1221] ← × 京都守護

職掌： 41 尾張(のち三河)以西の御家人の統率・京都の警備と監視

初代： 42 北条泰時(北方)・ 43 北条時房(南方) →以後、北条氏が世襲

③ 上皇方所領の没収(44 約3000箇所)

→多数の地頭の任命… 45 新補地頭 ※従来の地頭を 46 本補地頭という

☆ 47 \_\_\_\_\_ [1223]…地頭の得分(給与)を法定 前例がない場合に適用

(a) 48 11町につき1町の免田(給田)

(b) 49 1反につき5升の 50 \_\_\_\_\_ (c) 51 山川からの収益の半分

**結果** ① 公武二元支配の変化…武(幕府)が優位に

<例>幕府が皇位継承にも介入…後鳥羽の系統でない後堀河天皇→四条天皇

52 大田文(おおたぶみ土地台帳。凶田帳とも)作成を命令[1223] …本来は国司の業務

② 幕府の支配領域の拡大…畿内・西国にも ※多くの関東御家人が西国へ